

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	5-8-7-4	
事務事業名 流域下水道建設参画事業				部等名	企業局	
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	流域下水道建設負担金事業	課等名	上下水道課
	公共下	07-020101003	細々目名		係等名	下水係
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり			
	施策	8	下水道等の整備			
	基本事業名	7	その他			

事業概要 実施内容	県が運営する県中浄化センターの施設を、修繕・更新するための費用を負担する事業。				
根拠法令等	・下水道法 ・福島県土木建設事業にかかる市町村負担金に関する事務取扱要綱	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業		
		評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役員費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	26,925,552 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	26,925,552 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		<ul style="list-style-type: none"> ・県中浄化センター ・建設負担金の額 	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)	活動指標名・式 (アウトプット)	活動の大きさを表す指標	
<ul style="list-style-type: none"> ・負担金の支払い事務。 	指標 (1)	名称 負担金の額 式	
	指標 (2)	名称 式	
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)	成果指標名・式 (アウトカム)	意図の達成度を表す指標	
県中浄化センターの、効率的で効果的な施設の整備を図る。	指標 (1)	名称 負担金の納付率 式 納付額/請求額	
	指標 (2)	名称 式	
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか 施設の適正な管理により、河川水質の改善が図られる。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)	千円			26,926	18,581	
	活動指標 (2)						
	成果指標 (1)	%			91.7	92.1	
	成果指標 (2)						
投入量	事業費内訳	国・県支出金	千円				
		地方債	千円			26,600	18,500
		その他	千円			326	81
		一般財源	千円				
	事業費計 (A)	千円			26,926	18,581	
人件費	職員数	人			0.01	0.01	
	人件費平均額 (年)	千円			8,373	8,373	
	人件費計 (B)	千円			84	84	
総事業費 (A+B)	千円				27,010	18,665	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

〃、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境 (対象者・法令等・社会情勢) はどう変わりましたか？ 供用を開始してから20年余りが経過し、施設の老朽化が進行しつつある。
この事業に対して、関係者 (市民・議会・事業対象者・利害関係人等) からどんな意見や要望が寄せられていますか？ コストを極力抑えた効率的な施設の管理が求められている。

2. 事務事業の評価 (Check)

【目的妥当性評価】		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由，改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由，改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由，改革改善案へ】
施設の効率的な管理により、公共水域（河川等）の水質保全が図られる。	下水道は、市が行う事業である。	対象・意図とも妥当である。
【有効性評価】		
成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 有【理由，改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由，改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有【理由，改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】
負担金事業であるため。ただし、事務局へは常に成果向上策の働きかけを行っていく必要がある。	県中流域下水道から脱退すれば、市単独での処理場の建設が必要となり、今以上にコスト高となってしまう。	類似事業はない。
【効率性評価】		【公平性評価】
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有【理由，改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有【理由，改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有【理由，改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】
現状では、最低限の費用負担で行われている。汚泥処理方法（溶融炉での処理）の変更によっては、今後の経費が抑制される可能性がある。		負担金支払い業務が主な業務であり、適正である。
事業費のほとんどを、地方債によって賄っている。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 予期しない施設の故障などによって、突然に費用負担を強いられることがあり、将来の目標が立てにくい。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来の通りで特に改革改善しない）	(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要 																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策 																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 評価結果の根拠と理由 																					
(3) 今後の事業の方向性（改革改善案） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来の通りで特に改革改善しない）	(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項 																						